

山田発

「山田せんべい」復活

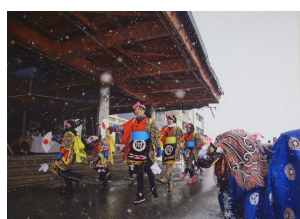


津波の被害を乗り越え、山田町名物「山田せんべい」が復活しました。米粉にごま、砂糖などを練り合わせて一枚一枚手焼きする山田せんべいは山田町に古くから伝わるふるさとのお菓子です。製造元の一つ太田幸商店は津波で工場兼店舗を失いました。震災から3年、創業者・太田幸さんの孫にあたる太田一幸さんが新工場を山田町飯岡地区の山あいに移転新築。一幸さんの父親は津波で亡くなり、母親も未だ行方不明のままです。それでも「山田の名前を使っている名物を自分の代で終わらせたくない」と工場を作り販売を再開したものです。太田幸商店の山田せんべいは町内の道の駅やスーパーなどで販売されています。(5/1 ニュースエコー)

東京発

被災地の写真展

東日本大震災の風化を防ごうと、東京で、被災地を発信する写真展が開かれています。この写真展は、フォトジャーナリストの渋谷敦志さん、盛岡市出身の佐藤慧さん、佐藤さんの妻・安田菜津紀さんの3人の作品を集めたものです。佐藤さんは震災で陸前高田市に住んでいた母親を亡くし、「命の重み」という遺族としての主観を写真に込めています。また、安田さんは街の宝物とも言える「なりわい」や「祭りの復活」など陸前高田の日常を切り取っています。この写真展は、東京のタワーレコード渋谷店で5月11日まで開かれています。(5/2 ニュースエコー)



大船渡発

「盛町五年祭」開催



大船渡市盛町で江戸時代から続くお祭り「盛町五年祭」が震災後、初めて行われました。江戸時代からおおよそ300年続く大船渡市盛町の天照御祖神社のお祭りで4年に一度行われています。前回は震災前の2010年に行われ、今回が震災後初めての開催です。祭りでは大名行列や稚児行列などおおよそ500人が盛町の商店街を練り歩きました。また震災の津波で流失し、全国からの寄付で再建を果たした山車が姿を見せると市民からは、大きな歓声が上がっていました。(5/4 ニュース)



大槌発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週はおおつちさいがいFMの「はやっち」さんが、新しい町民バスについて伝えてくれました。これは復興支援の一つとして町に贈られたもので、大槌のイメージキャラクター「おおちゃん」がプリントされた真新しいバスは仮設住宅に住む方たちの足としても活躍しているという事です。また、大槌の伝統芸能である鹿子踊りの鹿子の髪の毛部分に使われる珍しい「どろの木」の植樹祭についてや、子供の日に行われた、陣屋と呼ばれる秘密基地で遊ぶ陣屋祭についてもその様子などを伝えてくれました。(5/7)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122